

07年上半期

建設業倒産は1405件

帝国データ
集計 7.6%増と依然高水準

帝国データバンクがまとめた07年上半期の全国企業倒産集計によると、建設業の倒産は1405件で前期比で8.1%増、前年同期比で7.6%増で、依然として高水準が続いている。業種別の構成比では、前年同期比から2.2%減少、前期比でも1.5%減少した。

全産業の倒産件数は5394件で前期比14.1%増、前年同期比16.6%増と増加基調。中小・零細企業の倒産増加が目立っているほか、業種別では建設業のほか小売

業、サービス業で倒産件数が増えている。地域別では、北陸、近畿、四国の増加が大きい。

19年 7月 12日

建設工業新聞